

令和7年度事業計画

公益社団法人奈良市観光協会は、令和5年5月の新型コロナウィルス感染症の5類感染症（季節性インフルエンザと同等）への移行後から、本格的な活動を再開した。続く令和6年度においては、奈良を訪れる観光客は、インバウンド観光客を中心にコロナ前の規模に追いつき、追い越す勢いを示した。

奈良市は、世界遺産「古都奈良の文化財」に代表される貴重かつ高価値な歴史・社寺関連素材と、千年以上にわたり住民と共に存してきた「奈良公園の鹿」が日本中、世界中の観光客をひきつけています。加えて、関西観光の一大拠点である大阪・京都との近接により誰もが、たとえ旅ナカであっても気軽に訪れる事ができる位置にある。それらの絶対的な優位性に加え、令和7年は「大阪・関西万博」が半年にわたって開催される。まさに、より多くの方に奈良来訪を促す絶好の機会であり、この機会は最大限に活用しなくてはならない。

一方で、「滞在時間の延長と宿泊誘引による観光消費の拡大」という長年の課題は、来訪者数の増加だけでは解決できないことは明らかである。今や、奈良市観光協会の一番の責務は、来訪者数の増加に加え、より多種多様な情報の発信による、再訪への誘導（リピーター化）と広域周遊推奨による滞在時間の延長に他ならない。これらは、奈良市観光協会の基本路線であり、たゆまず、そして絶え間なく取り組んでいかなくてはならない。

- 以上を踏まえ、奈良市観光協会は令和7年度において以下の諸点を念頭に活動していく。
- 社寺・歴史関係にとどまらない奈良の様々な魅力を発掘し、観光客目線で訴求力のある企画に仕立て、社寺・歴史ファンと一般観光客の双方に強くアピールすること
 - 事業ごとにターゲット層を意識しつつも、全体では多種多様な層を対象とすること
 - それらの情報や企画を継続して最も効果的に、可能な限り「旅マエ」の段階で提供することで、「鹿・大仏」に終わらない奈良観光を提案すること
 - 昨今、オーバーツーリズムの観点からも問題となりつつある、奈良公園周辺に集中する観光客の周辺地域・県内分散・回遊を促すこと

令和6年度末には8年ぶりに奈良市観光協会ウェブサイトが一新された。今後、観光情報誌による情報提供とキャンペーン企画や着地ツアーの実施に加えて、日本語・英語を中心としたウェブサイト/SNSでの発信を「情報発信の3つの柱」とする体制を構築していく。

また、「大阪・関西万博」の開催を機に、奈良県内、あるいは大阪、京都などの観光関連団体との連絡を密にし、点としての奈良市のみならず、周辺地域と一体となった「面」での観光を推奨することで、滞在時間の延長につなげる体制を追求していく。

各事業

(1) 観光案内所運営事業（奈良市受託事業）

奈良市より市内3カ所の観光案内所の運営を受託する。

奈良市の定める運営方針の元、観光案内機能の拡大と深化を図り、活動の幅を広げていく。

また、インバウンド観光客のさらなる増加が期待される中、旅前情報でもカバーしきれない最新情報提供のための結節点として一部自動観光案内も導入し、効率的な運営をめざす。

- 奈良市総合観光案内所（J R奈良駅前）

- 近鉄奈良駅総合観光案内所（近鉄奈良駅上）

近鉄奈良駅総合観光案内所は、奈良県、奈良市、奈良県ビジターズビューロー、近畿日本鉄道（株）と協議会を組織して運営する。

- 奈良市観光センター「NARANICLE（ナラニクル）」（奈良市中部公民館内）

(2) 観光情報提供事業（紙媒体情報）

- 『ならり』の発行

季節ごとの観光情報や、奈良市観光協会の新しい取り組みなどを紹介する情報誌として、令和7年度秋冬号と令和8年度春夏号を発行する。「スパイス」「近代建築」「和菓子」など毎号ユニークな特集を組み、「より深い奈良」の情報提供をめざす。市内観光案内所の他に東京駅など連携する各地の観光案内所や、観光関連団体、旅行会社、交通事業者、メディアなどへ送付し、配架・配布を依頼する。また、奈良市観光協会のウェブサイト、SNS、キャンペーン特設ホームページなどの広報手段と連動させて知名度・普及度を上げていく。また、目標とする購読層に正しく配付されているかの確認と、新たな配付協力先の開拓は常に継続する。

- 『なら葉^{しおり}』の発行

年間を通じた奈良市の総合観光情報誌として発行する。

- 英語版観光パンフレット『Travel Guide Nara』の発行

観光案内所にて需要があるインバウンド観光客向けパンフレットを発行する。

- 『Nara Night Map』の発行

来訪者に対して奈良市における夜の楽しみ方を紹介し、滞在時間延長に寄与するため、奈良商工会議所、奈良市と協力してナイトマップ（日本語・英語）をアップデートし、ウェブ版にて公開すると同時に、印刷版を観光案内所や市内宿泊施設で配布する。

- 『Tomio Ramen Map/奈良富雄拉麺地圖』の発行

特にインバウンド観光客に人気のあるラーメン情報を発信し、市内回遊を促すため、令和2年度に制作した富雄地区のラーメンマップ改訂版を多言語で制作・発行する。

（3）観光情報提供事業（デジタル情報）

日本語・英語を中心に、ウェブサイト、SNSなどデジタル観光情報の発信を拡充させ、その即時性を生かして、『なりり』など紙媒体と相互に補完していく。引き続きアクセス解析による情報の最適化と効果的な発信をめざす。

○奈良市観光協会公式ウェブサイトの運営

観光情報を中心に提供するウェブサイトを日本語・英語を中心に繁体字・簡体字・韓国語でも運営する。様々な行事・イベントに加え、緊急性・即時性のある情報も提供していく。奈良市観光協会が発行する観光情報誌・マップなど紙媒体のダウンロード機能も備える。

ウェブサイトにおいては、「特集」「モデルコース」「グルメ」「お土産」などの観光客が最も注目しやすい情報の充実に努める。また、奈良市観光協会公式キャラクター「しかもろくん」専用ページ、教育旅行専用ページも併設する。なお、スマートフォンによる閲覧がメインになりつつあることから、特に観光客が旅ナカでも容易に観光情報を取得可能な仕様とする。従来あまり紹介できなかった社寺関連以外の各種イベント情報なども積極的に取り上げ、奈良市観光協会ウェブサイトが地域の総合的な観光情報発信の要となる体制を整えていく。

○チャットボットによる観光案内サービス

訪問者がモバイル端末から観光情報を入手できるよう、奈良市観光協会ウェブサイト上において観光案内用多言語チャットボットサービスを提供する。

○奈良市観光協会公式フェイスブックの運営

観光情報やイベント情報などをタイムリーに発信する。一部の情報は英語、または中国語（繁体字）でも発信する。また、「しかもろくん」フェイスブックも運営する。

○奈良市観光協会公式インスタグラムの運営

主に季節の誘客キャンペーンなどと連動させ、より多くのフォロワーの獲得に努める。

○メールマガジンの配信

奈良市観光協会会員に向けて、毎月メールマガジンを配信し、観光協会の取り組みや、観光産業の話題などを紹介し、協会の活動に対する会員の理解を深める一助としていく。

（4）観光プロモーション事業（広報宣伝）

広告出稿、各種取材対応、プレスイベントの開催などを通じて、積極的に広報宣伝を実施しながら、情報拡散と各メディアとの関係構築に努めていく。

○ 広告出稿と取材対応

奈良の露出を最大限に高めるため、奈良市観光協会のキャンペーンを中心に、一般紙、ウェブニュース、旅行・カルチャー誌などへの広告出稿や、各メディアからの取材依頼への対応により関係を構築し、観光情報の広範囲な拡散をめざす。

○ プレスリリースとプレスイベント

奈良市観光協会が展開する誘客キャンペーンや、伝行事・観光行事のプレスリリースをタイムリーに全国に配信し、ウェブサイトでも公開する。キャンペーン実施前にはプレス関係者などを招待し、キャンペーンを実地において体験してもらうことで広報効果を高めていく。

○ 奈良市域外での広報活動

首都圏、関西圏における広報手段を確保するため、大手旅行会社や鉄道事業者と密接に連携していく。

(5) 観光キャンペーン事業（オリジナル企画による誘客活動）

夏、秋、冬、春と通年にわたり誘客キャンペーンを展開する。既存の社寺・歴史ファンにはより深い体験を提供し、同時に新たなファン層の開拓と観光客滞在時間の延長、宿泊への誘引を図れるようにする。観光情報誌『ならり』、観光協会ウェブサイト/SNS、観光協会主催ツアー『奈良満喫体験』と連動させ、市内各団体や交通事業者、旅行会社と連携する。また、地元飲食店舗の協力による特別メニューの提供や、キャンペーン参加者への特典提供を継続していく。

○ 第12回『奈良・西ノ京ロータスロード』（6月半ば～8月半ば）

仏教において重要な意味のある「蓮」をテーマに、大和西大寺駅から奈良市西ノ京地区にかけて点在する4ヶ寺（西大寺・喜光寺・唐招提寺・薬師寺）を巡る共通拝観券の発行と、各社寺における付帯企画を実施する。蓮の開花特性を利用した早朝企画による前泊への誘引と、奈良公園周辺に集中しがちな観光客の市内回遊をめざす。引き続き、オンライン拝観券を導入し、販売効率化とファン層拡大を強化していく。

○ 第2回『奈良G o R o u n d』事業

奈良市内のさまざまなエリアをゆったりと巡るキャンペーンを展開する。令和7年度は佐保路エリアを選定し、「ゆっくり、のんびり、佐保路さんぽ」のテーマで紹介していく。特設ホームページは9月に公開する。

○ 『鹿寄せ』

奈良の朝の風物詩として好評な行事を夏季、冬季および春季に実施する。

○ 『新日本三大夜景奈良若草山トワイライト・夜景観賞バス』

観光客に若草山からの夕景（トワイライト）と、新日本三大夜景に選ばれた夜景を観賞

してもらうため、奈良市街と若草山山頂を結ぶ専用バスを夏季・秋季に運行する。

○ 第6回『秋夜の奈良旅』事業（11月）

秋季の強力な宿泊誘引材料として、過去5年間いずれも好評だった世界遺産社寺の夜間参拝と関連ツアーを実施する。正倉院展期間中の賑わいを同展終了後も持続させ、あわせて世界遺産「古都奈良の文化財」の広報に努める。

○ 第4回『路地ぶら ならまち・きたまち』事業（1月～2月）

毎回好評を博している「ならまち」「きたまち」諸寺の特別御朱印と、通常は拝観予約が必要な寺院での案内付き拝観や御朱印の授与を期間限定で実施する。冬季閑散期の有効な誘客企画として、『冬のグルメフェア』とも絡め、地域全体への誘客促進をめざす。

○ グルメフェアの実施

夏のグルメフェア 第4回『ちゃちゃちゃ大和茶』（7月～9月）

冬のグルメフェア 第3回『奈良いちごまみれ』（1月～2月）

毎回好評の旬の食材をテーマとした期間限定特別メニューの紹介を地元飲食店と協力して実施する。

○ 『春のおでかけキャンペーン』事業（3月）

桜シーズンに桜開花情報の発信を中心に実施する。

○ ユネスコ世界文化遺産「古都奈良の文化財」関連事業

奈良が誇る貴重な文化財である世界遺産六社寺のプロモーションを奈良市全体の観光促進材料として強力に発信する。

▪ 第6回『秋夜の奈良旅』世界遺産社寺夜間参拝（前記）

▪ 第3回 世界遺産シンポジウムを世界遺産登録記念日（12月2日）前後に、六社寺代表を迎えて奈良市内で開催する。

また、広域連携事業として、以下の事業を実施する。

○ 『Nara Slow & Loop』事業

観光客に奈良県北部の主要観光地を1周する形でつながるJR西日本の万葉まほろば線、和歌山線、大和路線沿線をじっくりと時間をかけて巡ってもらう『Nara Slow & Loop』を推奨する協議会に参加する。奈良市からの観光客回遊と県内滞在時間延長をめざし、奈良商工会議所、沿線の自治体/観光団体、およびJR西日本と協力して活動する。

また、年間を通じた誘客関連活動として以下の事業を継続して実施し、来訪者に「より深い奈良」を認知してもらうことで、滞在時間延長に寄与していく。

○ 奈良酒の広報と『奈良しゅわボール』事業

日本の「伝統的酒造り」がユネスコ無形文化遺産に登録（令和6年12月）されたことを受け、「清酒発祥の地・奈良」の知名度向上と奈良酒普及のための活動を継続する。

また、民間事業者の協力により、奈良酒をソーダなどで割った「奈良しゅわボール」

（奈良市観光協会登録商標）の普及に努める。

○ 『デジタル再生古地図』事業

令和4年度制作の「ならまち」「きたまち」のデジタル再生古地図を活用したツアー企画などを一般観光客や修学旅行関係者へ販売し、誘致活動を展開する。

（6） 海外プロモーション事業

訪日インバウンド観光客需要の増加と、「大阪・関西万博」来訪者の奈良誘引をめざし、奈良市、奈良商工会議所などと連携してインバウンド観光客の誘致活動に取り組む。各団体の共通重点国としてオーストラリアを選定している。

- 奈良市観光協会の多言語ウェブサイト、特に英語版ウェブサイトの充実に努め、インバウンド観光客が奈良の情報を検索する際の中心的なツールとなるべく育成していく。
- 市内観光案内所などで需要のある英語版観光パンフレット『Travel Guide Nara』、『Nara Night Map』ならびに『Tomio Ramen Map/奈良富雄拉麺地図』を改訂/発行する（前記）。
- 必要に応じて国内外での観光関係の展示会、商談会に観光協会単独、あるいは他団体と共同で出展し、現地事業者や一般旅行者に奈良の観光をアピールしていく。
- 海外現地の旅行会社やランドオペレーター、一般団体などからの問い合わせに対応して、奈良でのコーディネートなどを手配しながら、関係構築と情報収集に努める。
- 海外現地での情報発信として、繁体字フェイスブックを運営し、台湾、香港での情報発信に努める（前記）と共に、現地航空会社などと提携した広報宣伝を実施する。

（7） 教育旅行誘致事業

奈良市の観光産業に大きな位置を占めてきた教育旅行の誘致活動を、奈良市、奈良市旅館ホテル組合などと協力して行う。対象地域・対象校の分析を継続し効果的に活動する。

- 令和4年度制作の『奈良市教育旅行ワークブック』、令和2年度制作の『奈良ならではの歴史&文化&オモシロ体験型教育旅行』を学校関係者、旅行会社などに紹介していく。
- 奈良市来訪を計画する学校の下見受け入れや、宿泊施設への僧侶の出張法話を提供する。
- 修学旅行生徒の奈良市内における班別学習時に活用できる体験ツールとして、『デジタル再生古地図』を学校単位で販売する（前記）。
- 修学旅行生徒の奈良市内における班別学習時の利便性向上のために、市内契約飲食店で使用できる「ミールクーポン」を制作し、学校単位で販売する。
- 「奈良新しい学び旅推進協議会」と連携して、奈良が誇る世界遺産と、「1300年前からSDGsのコンセプトを体現してきた町・奈良」を発信するために活動する。

(8) その他の主な誘客活動

○『NARA CITY コンシェルジュ』事業

第6代 NARA CITY コンシェルジュ（3名）は、各種イベント、行事などに参加して奈良市観光のPRに努め、公式ブログ、X（旧ツイッター）、インスタグラムなどの運営により知名度の向上に取り組む。また、第7代 NARA CITY コンシェルジュ（3名）を一般から募集し、選考委員会による公正な審査により選出する。

○『しかまろくん』による情報発信事業

奈良市観光協会公式キャラクター「しかまろくん」を活用した各種イベント、行事への参加、街頭でのグリーティングや、「しかまろくん」フェイスブックとインスタグラム運営により、奈良市観光のPRに努める。

(9) 社寺関連・地元行事関連事業

○伝統行事等

「薪御能」「奈良大文字送り火」「采女祭」各行事の保存会事務局として、行事の円滑な実施に努めるとともに、各行事の認知度向上による観光客誘致に取り組む。

行事	日時	実施場所	役割
薪御能	5月16・17日	春日大社・興福寺	保存会事務局
奈良大文字送り火	8月15日	飛火野・高円山	保存会事務局
采女祭	10月6日	JR 奈良駅～猿沢池	保存会事務局
第890回 春日若宮おん祭	12月15日 12月17日	・大宿所詣 ・登大路園地棧敷席 (奈良県委託事業) ・松の下式棧敷席 (観光協会主催事業)	大宿所詣参加（15日） 特別棧敷席運営（17日）
春日大どんど	1月24日	飛火野	春日大社共催
第12回 珠光茶会	2月上旬	市内各社寺	実行委員会事務局

○その他、市内各社寺の行事への支援と広報協力を実施する

(10) 奈良市観光協会の主な自主収益事業

○『奈良満喫体験』ツアーの企画・販売

奈良市観光協会が主催するオリジナルツアーブランドとして、『奈良満喫体験』を展開する。一般的の旅行会社には無い特徴ある内容をこころがけ、奈良ならではの社寺関連企画に加えて、奈良の多様さとユニークさを強調した、市全域をカバーする企画を盛り込む。従来からの奈良ファンにはより深い体験を提供すると同時に、新たなファン層の

獲得をめざして、滞在時間延長のきっかけとなる企画とする。

奈良市観光体験予約サイト「N A R A タイム」にて予約受付・管理を行う。

○ 手荷物預かり事業

奈良市総合観光案内所において観光客の手荷物預かりを実施する。

○ 物品販売

各案内所において、「しかまろくん」グッズ、バスチケット等を販売する。

「しかまろくん」グッズなどの商品展開において、制作業者からライセンス収入を得る。

デザイン使用ならびにライセンス管理は、適正かつ厳正に行う。

(11) その他の事業

○ アイドリングストップ乗務員休憩所の運営（奈良市受託事業）

春日大社、薬師寺、唐招提寺駐車場にてアイドリングストップ乗務員休憩所を運営する。

○ 姉妹都市連携事業

福島県郡山市、福井県小浜市など奈良市と姉妹・友好関係にある都市との交流を深めるため、双方の行事への使節団の派遣・受け入れなどを行う。

○ 「おもてなし民間トイレ」

観光地区にある店舗などのトイレを観光客が利用できるよう、民間事業者の協力により観光客の市内回遊時の利便性を図る。

○ 全国高等学校ラグビーフットボール大会における宿泊誘致事業

奈良県ならびに奈良市旅館ホテル組合と連携し、大会出場校の奈良市内宿泊誘致に努める。また、滞在中の練習会場の確保と練習日程の調整を担当する。

○ 関係団体共同事業

奈良マラソン実行委員会、東海自然歩道連絡協会、奈良の鹿愛護会など各団体の委員、理事として奈良市観光の振興に努める。

東海自然歩道連絡協会 令和7年度総会の奈良での開催に協力する。

○ 観光先進地域の事例研究や、他団体との連携を通じて知見を深め、将来の奈良市観光の発展を見えた提言を行っていく。また、情報発信やプロモーションのみならず、総合的な観光マーケティングの強化による地域の発展を目的として、奈良市中心部におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）推進の検討を奈良市、奈良商工会議所などと継続する。

以上

令和7年度予算（予定正味財産増減計算書）

令和7年 4月 1日

(単位：円)

科 目	当年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費				
正会員受取会費	9,000,000	9,000,000		既会員740口、新規会員10口
事業収益				
販売事業収益	5,753,000	5,280,000	473,000	
特別観覧席収益	5,270,000	5,270,000		おん祭桟敷席
手荷物預かり事業収益	7,500,000	4,700,000	2,800,000	利用者増加
観光情報提供事業収益	1,480,000	1,480,000		観光情報誌広告料
ロイヤリティ事業収益	12,000,000	6,600,000	5,400,000	ライセンス商品の増
旅行事業収益	11,261,000	11,650,000	-389,000	
カフェ運営協力収益	2,445,000	2,445,000		
NARANICLE運営事業収益	1,512,000	1,512,000		レストラン運営共益費見合い
記念事業収益				
共通拝観券収益		8,000,000	-8,000,000	世界遺産共通拝観券
受取補助金等				
受取国庫補助金		20,000,000	-20,000,000	観光庁補助事業の減
受取奈良市補助金	232,490,000	223,330,000	9,160,000	
受取奈良市受託料	89,554,000	84,134,000	5,420,000	
受取負担金				
受取民間負担金	350,000	7,337,000	-6,987,000	出向人件費負担金の減
雑収益				
受取利息	12,000	1,000	11,000	
雑収益	132,000	132,000		外貨両替機協力金収入
経常収益計	378,759,000	390,871,000	-12,112,000	
(2) 経常費用				
事業費				
役員報酬	9,149,000	8,082,000	1,067,000	
給料手当	127,149,000	109,591,000	17,558,000	職員の増
福利厚生費	25,855,000	22,741,000	3,114,000	職員の増
研修費	50,000		50,000	
旅費交通費	8,097,000	8,978,000	-881,000	出張旅費の減
通信運搬費	3,290,000	3,099,000	191,000	
会議費	61,000	50,000	11,000	
交際費	560,000	560,000		
減価償却費		1,000	-1,000	備品償却終了
消耗品費	3,260,000	2,463,000	797,000	
修繕費	1,273,000	1,263,000	10,000	
印刷製本費	7,307,000	6,747,000	560,000	
燃料費	162,000	143,000	19,000	
光熱水料費	10,703,000	10,328,000	375,000	
賃借料	11,801,000	11,554,000	247,000	
保険料	714,000	824,000	-110,000	
諸謝金	11,400,000	20,450,000	-9,050,000	拝観料（世界遺産事業）の減
租税公課	7,311,000	5,351,000	1,960,000	事業収益増に伴う消費税増
支払負担金	1,681,000	1,351,000	330,000	
諸会費	144,000	144,000		
支払補助金	26,052,000	23,935,000	2,117,000	観光関連団体補助金の増
支払寄付金	87,000	87,000		
委託費	87,847,000	116,140,000	-28,293,000	観光庁補助事業の減
支払手数料	346,000	397,000	-51,000	
広報宣伝費	10,528,000	8,677,000	1,851,000	
雑費	2,503,000	3,104,000	-601,000	
管理費				
役員報酬	1,051,000	918,000	133,000	
給料手当	10,094,000	14,431,000	-4,337,000	出向人件費の減
福利厚生費	2,212,000	2,993,000	-781,000	出向人件費の減
研修費	282,000	300,000	-18,000	
会議費	962,000	814,000	148,000	
交際費	100,000	50,000	50,000	
旅費交通費	407,000	497,000	-90,000	
通信運搬費	435,000	378,000	57,000	
消耗品費	301,000	439,000	-138,000	

令和7年度予算（予定正味財産増減計算書）

令和7年 4月 1日

(単位：円)

科 目	当年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
修繕費	20,000	21,000	-1,000	
印刷製本費	94,000	102,000	-8,000	
燃料費	18,000	17,000	1,000	
光熱水料費	36,000	41,000	-5,000	
賃借料	983,000	937,000	46,000	
保険料	116,000	35,000	81,000	
租税公課	435,000	115,000	320,000	法人税等
諸会費	296,000	411,000	-115,000	
支払手数料	1,140,000	547,000	593,000	
委託費	2,447,000	1,755,000	692,000	士業顧問料・相談料等
雑費		10,000	-10,000	
経常費用計	378,759,000	390,871,000	-12,112,000	
評価損益等調整前当期経常増減額				
評価損益等計				
当期経常増減額				
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計				
(2) 経常外費用				
経常外費用計				
当期経常外増減額				
他会計振替前当期一般正味財産増減額				
税引前当期一般正味財産増減額				
当期一般正味財産増減額				
一般正味財産期首残高	32,151,527	32,151,527		
一般正味財産期末残高	32,151,527	32,151,527		
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額				
指定正味財産期首残高	2,057,415	2,057,415		
指定正味財産期末残高	2,057,415	2,057,415		
III 正味財産期末残高	34,208,942	34,208,942		

令和7年度予算（予定正味財産増減計算書内訳表）

令和 7年 4月 1日

(単位: 円)

令和7年度予算（予定正味財産増減計算書内訳表）

令和7年4月1日

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業会計			その他事業会計			法人会計	内部取引消去	合 計
	公益事業1	共通（公益）	小 計	収益事業1	共通（収益）	小 計	その他事業1	その他事業2	共通（その他）			
修繕費										20,000		20,000
印刷製本費										94,000		94,000
燃料費										18,000		18,000
光熱水料費										36,000		36,000
賃借料										983,000		983,000
保険料										116,000		116,000
租税公課										435,000		435,000
諸会費										296,000		296,000
支払手数料										1,140,000		1,140,000
委託費										2,447,000		2,447,000
経常費用計	194,550,000	122,922,000	317,472,000	21,145,000	13,837,000	34,982,000	2,922,000	1,954,000		4,876,000	21,429,000	378,759,000
評価損益等調整前当期経常増減額	-8,175,000	-8,509,000	-16,684,000	24,323,000	-3,638,000	20,685,000	72,000	-278,000		-206,000	-3,795,000	
評価損益等計												
当期経常増減額	-8,175,000	-8,509,000	-16,684,000	24,323,000	-3,638,000	20,685,000	72,000	-278,000		-206,000	-3,795,000	
2. 経常外増減の部												
(1) 経常外収益												
経常外収益計												
(2) 経常外費用												
経常外費用計												
当期経常外増減額												
他会計振替前当期一般正味財産増減額	-8,175,000	-8,509,000	-16,684,000	24,323,000	-3,638,000	20,685,000	72,000	-278,000		-206,000	-3,795,000	
税引前当期一般正味財産増減額	-8,175,000	-8,509,000	-16,684,000	24,323,000	-3,638,000	20,685,000	72,000	-278,000		-206,000	-3,795,000	
当期一般正味財産増減額	-8,175,000	-8,509,000	-16,684,000	24,323,000	-3,638,000	20,685,000	72,000	-278,000		-206,000	-3,795,000	
一般正味財産期首残高											32,151,527	32,151,527
一般正味財産期末残高	-8,175,000	-8,509,000	-16,684,000	24,323,000	-3,638,000	20,685,000	72,000	-278,000		-206,000	28,356,527	32,151,527
II 指定正味財産増減の部												
当期指定正味財産増減額												
指定正味財産期首残高	49,766		49,766								2,007,649	2,057,415
指定正味財産期末残高	49,766		49,766								2,007,649	2,057,415
III 正味財産期末残高	-8,125,234	-8,509,000	-16,634,234	24,323,000	-3,638,000	20,685,000	72,000	-278,000		-206,000	30,364,176	34,208,942

事業 年度	自	令和7年4月1日	法人コード	A021692
	至	令和8年3月31日	法人名	公益社団法人奈良市観光協会

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1)資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合は、その借入先等を記載してください。

借入れの予定		なし		
事業 区分	番号	借入先	金額	使途
			円	
			円	

(2)設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資(除却又は売却を含む。)の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容等を記載してください。

設備投資の予定		なし		
事業 区分	番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額	資金調達方法 又は取得資金の使途
			円	
			円	